

北海道・層雲峡 観光活性化特集



大雪 森のガーデン 新たなステージへ

魅力あるガーデン造りに邁進―現場から

10年目の節目を迎え、踏み出した一歩

施設管理マネージャー
田川雅巳さん



森のガーデンで働きだして今年で11年目になります。昨年、開園10周年でしたので、ガーデンの歴史とともに歩んできて来しました(笑)。当たり前ですが、植物の種類も増え、園全体は相当グレートアップしています。

現在は施設管理マネージャーとして、園内と周囲の植物の維持・管理を行っています。植え替えや手入れ、除草など何でもやっています。

道は「北海道ガールズ街道」の二つが、大雪山山頂を望む丘陵に広がる森に造られており、まさに自然の中にあるガーデンです。ライムンに例えるのが癖が強い味のトッピングは自然といえ、他のガーデンにないもので、標高が6000mを超え、冷涼な気候のため、他には見られない植物があります。その一つが6ヶ月に咲く「メーアツシ」。ヒマヤラの青いケシと呼ばれる、気温8度以下の環境でしか咲きません。植物の種類は5000種ほど。森林限界に近いところにあるガーデンなので、樹木1つをとってもアーストは違いますが、分けるは分かる、とめたい感じですが、精確なために入力しているのだから、それを理解してあげるのでもつれしです。

最近ほ外国人の方も多く、特に韓国、台湾の人たちが目立ちます。10年の節目を迎え、新たな

が、いっの意味でも悪い意味でもそんなに変わる必要はないかな、と思っています。自然相手ですので、こちらの思うようにはいきません。いい感じに変わっていくよう、サポートするといったらいいでしょうか。

今年も10月中旬まで営業します。冬の間もまたいろいろな作業がある、休園だからといって休んでいる暇はありません。若いスタッフが増えていくのがうれしいですね。見た目以上に過酷で、ヘビや虫などもいっぱいいます。それを気にしないで働く姿に感じています。一緒に盛り上げていきたいです。

北海道の雄大な自然あふれる大雪から旭川・富良野・帯広・十勝までの全長250kmに、八つの庭園が並ぶ「北海道ガーデン街道」その一つ「大雪森のガーデン」（上川町）は最北のガーデンで、人気温泉地・層雲峡温泉から車で40分ほどの距離にある。昨年、開園10周年の節目を迎えた。内容、質ともに充実し、新たな一歩を歩み始めた。

大雪森のガーデンは、大雪連峰を望む丘腰に広がる森に造られたガーデンで、北海道らしい雄大な景色が眼前に広がる。

5・5畝（＝5個分）の広品種を超える彩豊かな宿根「森の花園」「森の山野」

大雪森のガーデン
Daisetsu Mori-no Garden

10周年記念花壇

大雪森のガーデンは、北海道らしい雄大な景色が眼前に広がる。

昨年、開園10周年 3エリアで構成 1000種を超える植物群

京ドーム3・
な敷地には千
物があり、色
草が咲き誇る
自然の木々や
に囲まれて寛
館」、緑あふ

れる「遊びの森」の三つのエ
リアがある。

ことができ、また、木の幹
秘が斜面に約40粒にわたって

四季折々の草花が訪れ、

A photograph of a lush garden scene. In the foreground, there are various flowers, including pink and yellow ones, and green foliage. In the background, there are tall trees with green leaves, and a small wooden building is visible. The scene is bright and sunny.

大自然と人間が共存する場所

営業企画マネージャー
岩城泉さん



大雪高原旭ヶ丘、山麓に広がる丘陵地に造られた美しい庭「大雪森のガーデン」。北海道ならではの気候かつ、強靱な四季の厳しさを兼ね備えた、美しい森庭がここにあります。

森庭を守り続ける「大雪森のガーデン」はまさに、大自然と人間の共存がテーマの活動になる大仕事であり、来園の皆さまには松たけが、デンスタップの人間じいさんが

に体験しては、森の迎賓館を中心として、原生樹をそのまま生かした森を管理する特別なガーデンが存在します。四季を華や千種類を超える宿根草と守るガーデンたちと、あまたのお客さまを笑顔にした入園窓口のおもてなしスタッフ。大雪高原丘を走り尽くした施設管理者のもと、自然を活用し、新たな取り組みを始めています。

それは多くの年代が楽しく過ごせる装花・花のおもてなし、大雪森のガーデンならではのオリジナル商品の開発です。

2025年度、ガーデンコンセプトを確立させる第一歩として、ガーデンの水彩スケッチによる商品デザインが誕生しました。四季折々に出せる動植物や花の営みそのま

まを伝えられる、ナチュラルな絵のタッチを込め描かれた大雪森のガーデン。それらはお客さまの手に目に触れられるガーデンシーズンパスポートの表紙や、上戸町物産のバックグランドになり、さらにご自宅へ装飾し飾られるガーデンオリジナルカレンダーの誕生へと進化してきました。

大雪高原丘には、層雲峡温泉と位置標高は等しい川町が誇る観光口に対して、庭園ならではの魅了で集客に尽力することを、おもてなしのミッションとして目指しています。

観光地としての話題性、事業拡大という経営運営の視野の中には、こうして働く人間一人ひとりの温かみを届けたい、丁寧な作業をより大切にしていきたいという願いが込められています。

められています。数ある作家を手にとってご覧になった方からいたく言葉は、さらにわれわれを励まし続けていられることこそ、それを証明しています。

若きガーデナーを支える当園にとつての新たな時代に、大雪露のガーデンとしてより北海道よりい森庭が魅せられる自信を持ち、またそれを大きく期待しています。その気持ちを表現するように、人々へつなぐ広告のモチベーションとアイデアを高めて、花の魅力をより美しく反映できる、より楽しませるコマシヤル作りにも力を入れることに尽力いたします。

大雪露のガーデンを丁寧に伝える営業企画力。マネジメントとしての挑戦と、温かいひとときをつなぐ、貴重な仕事を生み出す確かな第二歩となつて、より頑張りたいと思います。

充実するガーデングッズ

カレンダーとパスポート

作画・浦野もえぎ



リアがある。

森の花園は「一大雪な庭」「四季の花園」「花の泉」「カラムシタカ」とそれそれの独自の魅力を持つガーデンで構成され、シーズンごとに全く異なる風景を築める。

たとえば、大雪な庭は、大切と雪を重ね合はせ、上川を象徴する大雪山系の植物を大切にしたいという思いを込めて、大雪山で見られる高山植物北海道の自生種を植栽している。

森の迎賓館は「森のゲートウェイ」「森の絨毯」「森のリビング」「癒しの谷」「森博物館」という個性豊かな五つのゾーンでなっている。

遊休の森にある、木と木に梁を渡して作った「鳥の目になるフス」は地上44びの高さから森の中の風景を見渡す

毯が斜面に約40びにわたって並ぶ「森の木琴」では、木の球を転がすとパッパのアレリユードを奏でられる。

このほか、直径8びと4・5びの巨大なリング型のベンチや交流体験棟「チユエ」がある。

園内にはカフェ「緑茶茶房」やショップ「フレンチの重鎮」三國清三さんがプロデュースした「フランク・デ・ミシクニ」などもあり、ガーデンならではの味が楽しめる。

ガーデンの営業期間は、自26日～10月13日、営業時間午前9時午後5時、入園料は一般800円、中学生以下無料。年間ガーデンパスボトは一般1500円。JR上川駅前からガーデンまで往復シャトル便が運行されている。問い合わせは ☎011-82・2・4666。